

## 滋賀県がん診療連携協議会・第3回相談支援部会

日時：平成29年3月16日（木）17:00～19:00

場所：県立成人病センター新館4階 講堂

（敬称職名略）

【部会長】成人病センター 山内、

【副部会長】大津赤十字病院 芥田、市立長浜病院 伏木、

【部会員】滋賀医科大学附属病院 木村、

大津赤十字病院 がん相談支援センター 山本

成人病センター がん相談支援センター 岡村、

公立甲賀病院 がん相談支援部 柴田、

彦根市立病院 がん相談支援センター 田中、

高島市民病院 地域医療連携室 大塚、

大津市民病院 地域医療連携室 山澤、草津総合病院 吉村、

済生会滋賀県病院 がん診療支援センター 山田、

長浜赤十字病院 がん診療支援室、東近江総合医療センター 長岡、

滋賀県歯科医師会 柴田、滋賀県薬剤師会 渡邊、

滋賀県歯科衛生士会 長谷川、滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井、須藤、

滋賀県健康医療福祉部 奥井、成人病センター 嶋田

【事務局】成人病センター 地域医療連携室 柳

【欠席部会員】市立長浜病院 がん相談支援センター 新川、

近江八幡市立総合医療センター 地域医療課 嶋田、滋賀県医師会 重永、

滋賀県看護協会 西村

【オブザーバー】

成人病センター 緩和ケアセンター 吉田、地域医療連携室 横江、山脇

### 1. 部会長あいさつ

（山内部会長）

### 2. 【審議事項】

#### (1)平成28年度相談支援部会の取り組み評価（最終評価）について

（事務局）

- ・平成28年度実施計画に基づき実績・取り組み内容を報告。ほぼ計画どおりで目標を達成したことで「A」の評価をさせていただき、部会員の承認をいただいた。

#### (2)平成29年度相談支援部会の取組内容および全体スケジュール（案）について

（事務局）

- ・前年度と同様で、相談員の資質向上、相談支援シートの標準化検討、がん患者サロンの運営にかか

る調整、「滋賀の療養情報」の更新、がん相談後のアンケートの実施を平成 29 年度のアクションプランとする。

- ・部会 3 回、ワーキンググループと相談員の資質向上の研修会は 2 回計画している。がん患者サロンは通年予定。

### (3)患者会、サロン情報の集約について

(県健康医療福祉部)

- ・県が試みに作成した資料で患者会とサロンの集約を行なっていきたい。情報の確認、修正、追記等を 3 月 30 日までをお願いしたい。
- ・次回の相談支援部会にて集約した内容を報告し引き続き検討していきたい。

## 3.【報告事項】

### (1)平成 28 年 12 月 8 日開催 第 8 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会について

- ・がん相談支援センターの機能を強化し、そして困難を抱えた人を適切に繋げるための対応について議論がされている。
- ・啓発活動の一つとしてメディアを使う事があげられた。
- ・厚生労働省からがんの就労関係事業の説明、ライフラインの説明があった。
- ・全国の相談件数のカウント方法が違うことについて、統一する目的で「相談記録のための基本形式」が、がん情報サービス内で公開済。

### (2)平成 28 年度相談支援部会 WG の報告

- ・相談記入シートを県内標準化し平成 29 年度 4 月より運用開始
- ・職場での保健の取組みや労務に関する Q&A 集【第 1 版】を各病院で活用、評価も含め相談支援部会で検討
- ・滋賀の療養情報更新に向けて、メンバー変更および更新時期の目安

(事務局)

- ・相談記入シートについて項目 7 番の相談者から相談内容の欄、99 番はアピランスを入力すること
- ・Q&A 集は相談員向けの資料であり、内容の評価や追加等の有無の評価を行なうため、評価方法を部会で検討していきたい。
- ・「滋賀の療養情報」を更新するために作成委員会を結成した。

### (3)PDCA サイクルについて

平成 28 年度がん相談後アンケート集計表(4 月～12 月)

(事務局)

- ・集計の結果半数が患者さんであった。初めて利用された方が 75%、役に立ったという声が 99% ありほとんどの方が役に立っているという結果だった。これからも継続していきたい。

(山内部会長)

- ・相談窓口をどのように知ったかという項目で医療スタッフが約半数、ポスター・パンフレットが約20%、「滋賀の療養情報」の冊子を見たのが3%という結果であった。患者会で聞いたというのが若干少なく思える。患者会、サロンで紹介をしていただきたい。
- ・アンケート未実施の施設はぜひ実施をしていただき、アンケート集計に協力をお願いする。

#### (4)がん相談支援センターの相談員の資質向上

- ・がん相談員スキルアップ研修の開催(平成28年12月9日開催)
- ・事例検討会の開催(平成29年2月24日開催)

(成人病センター)

- ・「18歳未満の子供のいるがん患者への相談支援」で研修会を開催。おおむね理解できた、よく理解できたというフィードバックあり。来年度も研修会を企画し開催していきたい。

#### (5)滋賀県がん患者団体連絡協議会の報告事項

(がん患者団体連絡協議会)

- ・ピアサポーター養成講座を行ない6期生23名が加わり、4月からサロンに参加する。
- ・大雪のため彦根市立病院、東近江総合医療センターのサロンが中止となった。中止の判断はサロン責任者で決定するが、中止となった場合のお知らせを相談支援センターで対応していただきたい。
- ・中止に関する文書をがん患者団体連絡協議会にて準備する。
- ・サロンやピアサポートをより活用していただくため、がん種、部位、罹患年齢などピアサポーターの情報を相談支援センターに公開を検討中。

#### (6)県の報告事項

(県健康医療福祉部)

- ・昨年末にがん対策基本法の一部改正の成立があった。
- ・がん患者の雇用の継続等に配慮、がん対策に協力するように努力するなどの事業主の責務が新設された。
- ・がんに関する教育の推進が今回の改正で法律の中で位置づけされた。
- ・国のがん対策推進計画の素案が夏頃に示される見通し。それに伴い県の第3期計画を策定しなければならない。相談支援部会の意見をいただきたい。
- ・就労支援の啓発について、チラシとポケットティッシュを作成した。リーフレットは患者向け、事業所向けがある。
- ・家計プランの研修会について、各病院一人は参加願いたい。生活困窮者支援の担当者との交流会もある。学ぶだけでなく地域の関係者との連携のきっかけとなる。
- ・アピアランス支援について、相談支援部会と一体として検討していきたい。研修会の予算があり、テーマや開催日などの相談支援部会と相談させていただく。
- ・アピアランス支援(外見変化に対する支援)について相談件数のカウントをお願いする。

## (7) その他

### (成人病センター)

・来年度、がん相談支援センター相談員の指導者研修がある。3人1チームでの参加となる。参加希望者は事務局まで連絡していただきたい。

### (がん患者団体連絡協議会)

・がんと診断されたときに必要な情報提供ができるように仕方などをどこで決めるかわからないが検討していただきたい。

### (山内部会長)

・入院するときはすでに治療方針が決定していることが多いため、早い段階で手渡しする方法を考えていきたい。

### (成人病センター)

・情報提供としてはよい取り組みだと思う。ただ、各病院の方針や診療科の考えもあると思う。相談支援部会では情報提供については検討できると思うが、院内に広めていく方法は滋賀県がん診療連携協議会で話し合ったほうがよいかと思う。

以上